



- 近い将来発生が予測がされる「南海トラフ地震」では津波の襲来が危惧されるが、周辺には想定浸水高を超える高層の建築物が少ないため、浄化センター管理棟屋上を緊急避難場所として活用
- 近隣住民が参加する避難訓練の実施により、下水道施設への理解を深めるとともに、地域の防災意識向上に貢献



屋上への避難状況



津波浸水予測の説明



地元自治会主催の避難訓練(住民約110名参加)
(南部浄化センター)



屋上への避難用に設置した屋外階段を体験する地元小学生(宮川浄化センター)